

事業所防災リーダー通信 vol.37

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。

事業所防災リーダーへのご登録、ありがとうございました！

東京都防災リーダー事務局からのお知らせです。

本メールは、事業所防災リーダーとして登録された際のメールアドレスにお送りしています。

<<事業所防災リーダー必携③⑦>>

◆生きた防災訓練を行いましょう

防災訓練は法令で定められている事もあり、多くの事業所で定期的にも実施されています。**参加者が興味を持って取り組める**よう、訓練の**目的**と**方法**を明確にし、**状況にあわせた具体的なシナリオ**を設定するなど工夫してみましょう。

(例) 避難誘導訓練：火災・地震・風水害など災害別に想定して実施する

応急救助訓練：AEDの使い方や負傷者の救出および搬送方法を学ぶ

初期消火訓練：消火器や屋内消火栓の使い方を学ぶ

【実践的な訓練にするために】

○目的の設定

「**誰に**、どうなってほしいから、**何を**するのか？」を考えましょう。目的（だれにどうなってほしいか）よりも、手段（何をするのか）の方が論じやすいですが、まずは目的（だれにどうなってほしいか）を設定しましょう。

また、訓練を実施して出てきた課題などは、当事者で共有し今後の取組などにフィードバックしましょう。

○手段の確認

目的の設定ができたら何をするのかを考えましょう。自分たちの事業所にはどのような設備があり、どのように使うか訓練を通じてきちんと確認しましょう。



○シナリオの設定

各事業所で起こりうる災害を想定して訓練のシナリオを作成しておくこと、より実践的な訓練が行えます。ハザードマップなどで自分の職場では**どのような災害が起こり得るのか**確認しましょう。

参考 [わがまちハザードマップ - 国土交通省](#)